# 論文を作る

論文は研究成果を発表するものである。本文を書く、図を作る、文献を入力する。皆さんは、それぞ れの論文作成のステップで、どのようなソフトを使っているのだろうか?

冒頭の論文はわたしが1999年に Nature に発表した食欲を刺激する ホルモン "グレリン"の発見の論文 である 1-1-1 ~ 1-1-5。 論文発表の舞 台裏については、今は廃刊になった Molecular Medicine にエッセイ を書いているので、図書館で探して 読んで欲しい。

この論文の評価は結構高く、グレ リンに関する研究論文は PubMed で検索すると2015年1月の段階で

7,300 編を超えている。このグレリ ン発見の論文には、医学・生物学分 野の科学論文に典型的な Figure を いくつか含んでいる。それは棒グラ フ、線グラフ、写真などの画像であ

わたしは機会があれば多くの研究 者に、どのワープロソフトを使って 本文を書いているか、どのソフトで 図を作成しているかを質問する。そ の結果、ワープロソフト以外は研究

1-1-1

## **Ghrelin is a growth-hormone**releasing acylated peptide from stomach

・・・・・・・・ わたし(著者)です。

Masayasu Kojima , Hiroshi Hosoda\*, Yukari Date\*, Masamitsu Nakazato†, Hisayuki Matsuo\* & Kenji Kangawa\*

- \* Department of Biochemistry, National Cardiovascular Center Research Institute, Fujishirodai, Suita, Osaka 565-8565, Japan
- † Third Department of Internal Medicine, Miyazaki Medical College, Miyazaki 889-1692, Japan

Small synthetic molecules called growth-hormone secretagogues  $(GHSs)^{1-3}$  stimulate the release of growth hormone (GH) from the pituitary  $^{4.5}$ . They act through GHS-R, a G-protein-coupled receptor for which the ligand is unknown. Recent cloning of GHS-R<sup>8.7</sup> strongly suggests that an endogenous ligand for the receptor does exist and that there is a mechanism for regulating GH release that is distinct from its regulation by hypothalamic growth-hormonereleasing hormone (GHRH)<sup>4,5</sup>. We now report the purification and identification in rat stomach of an endogenous ligand specific for GHS-R. The purified ligand is a peptide of 28 amino acids, in which the serine 3 residue is *n*-octanoylated. The acylated peptide specifically releases GH both in vivo and in vitro, and O-noctanoylation at serine 3 is essential for the activity. We designate the GH-releasing peptide 'ghrelin' ☞第3章「タッチタイピングを root of the word 'grow'). Human

ghrelin apart from two amino aci マスターする」 both rat and human indicates that GH release from the pituitary

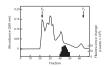
may be regulated not only by hypothalamic GHRH, but also by ghrelin.

## 1-1-2

letters to nature

# ☞第2章 「2-10 複雑な線の図を

Illustrator の「ペンツール」が威力 を発揮する。





室(研究者ごと?)によって使われ ているソフトは千差万別である。な かには図を描くのに「まだこんな古 いソフトを! | と驚くこともしばし ばある。

またわたしは「ブラインドタッチ (タッチタイピング)で文章を打てる か? | とよく質問する。結果は10 人に聞いて、よくて1人が正統な タッチタイピングで打てるという低 率である。ほとんどの研究者は昔か ら自己流で何となくキーを打ってき たから、特に不自由ないと思ってい る。自慢ではないが(いや、自慢か もしれないが)わたしは、正統なタッ チタイピングで文章が打てる。しか もプロにはかなわないが、かなりの スピードで打てると自負している。 たいていの研究者よりは速いのでは ないかな? これまでに他の研究者



### letters to nature

☞第2章「2-7 棒グラフを描く」 基本的なグラフを描いて、Illustrator に慣れよう。

☞第2章「2-11 S字曲線を描く」 Illustrator の「ペンツール」を使って、 なめらかなS字曲線を描く。





☞第2章「2-8 線グラフを描く」 オーソドックスなグラフを描こう。

### 1-1-4

frain Ventricks -ung -Ner Glossy Small into

☞第2章「2-12 画像を含んだ図」

letters to nature

### 1-1-5

### letters to nature

☞第4章「EndNote で文献を入力する」 これでやっかいな文献入力におさらばだ!

### Central inputs mask multiple adult neural networks within a single embryonic network

がキーボードで文章を打っているの を横から眺めていて、「俺より速く打 てる! | と感嘆したことはない。

またキーボードが速く打てても、 論文の最後には、あの面倒な引用文 献が待っている。しかも雑誌ごとに 文献のスタイルが違っているため、 投稿論文がリジェクトされて別の雑 誌に再投稿するときにはまた最初か ら文献を入力する、あるいは文章を 変更したため文献の番号がズレてし まって混乱した、などの経験はない だろうか?

気になったので、何人かの研究者 に現在どのようなソフトを使って論 文を作成しているのかを聞いてみた。 以下、そのうちの5名の回答。

## 研究者B

【ワープロ】Word

【**図の作成**】PowerPoint。用紙サイズを A4 にして、最終的に PDF あるいは tiff ファイルに変換する。グラフは Excel から移す。

【文献入力】EndNote を使っている。 【オンラインストレージ】 使っていない。

## 研究者 A

(研究者の標準的な回答だと思う) 【ワープロ】Word 【図の作成】PowerPoint で作成。 【文献入力】EndNote を使っている。 【オンラインストレージ】

使っていない。

## 研究者C

【ワープロ】Word

【図の作成】Illustrator で作図している(なんとわたしが以前にIllustratorの使い方を教えたらしい?!)。 【文献入力】EndNote を使っている。 【オンラインストレージ】 使っていない。

## 研究者 D

【**ワープロ**】 Word 【**図の作成**】 PowerPoint で作成して、 PDF や tiff ファイルに変換する。 【**文献入力**】 手入力。 【**オンラインストレージ**】 使っていない。

## 研究者E

【**ワープロ**】Word 【**図の作成**】Photoshop か、Power Point で作成。 【**文献入力**】手入力。 【**オンラインストレージ**】 使っていない。



このようにワープロはほとんどの 方は Word を使用しているが、図の 作成にIllustratorを使っていたのは 1 名だった。予想通り PowerPoint を使って作図している人が多かった。 またこの5名以外で Dropbox を 使っている方が何名かいたが、オン ラインストレージはほとんどの研究 者が使っていない。タッチタイピン グができると自信を持って答えてく れたのは、わたしの研究室のメン バー以外では 1 人だった。おそらく もっと多くの方に聞いてみても、同 じような傾向になるだろう。

さて、この本の構成は、実際にわ たしが発表した論文の作成に沿って、 図の作成から、本文、文献の記入、投 稿用ファイルの作り方までを、でき るだけ実例のままに説明し、実際に 読者が論文作成のときにすぐに役立

## つようにしてある。

この本で使用したソフトはすべて Mac 版 (OSX10.9.3) の

- 1) Illustrator (Illustrator CS6)
- 2 Photoshop (Photoshop CS6)
- (3) Word (Word X for Mac)
- 4 EndNote (EndNote X7)
- (5) Acrobat (Acrobat 6.0)

である。これらのソフトは、入手 も簡単だし、論文作成のために最も ポピュラーなものだ。しかし、どの ソフトも機能が多く、解説書が分厚 く、「とてもこんなに覚えきれない」 「使いこなせない」と嘆くかもしれな い。しかし、科学論文作成に使うだ けならば、それほど高機能な使い方 は必要なく、**使うべき機能はすごく 限られている**ので、実はマスターす るのは簡単だ。ぜひ以下の章でその ことを実感して欲しい。



